

よびごえ・きずな・ささえ

—美術と言葉とわたちの力—

2011年11月19日 | 土 |
郡上市総合文化センター

|12:30| 開場 |13:00-15:30| テーマトーク・シンポジウム
入場無料・事前申込不要

フォーラムプログラム

開会挨拶

甲田洋二 (武蔵野美術大学学長)

テーマトーク「美術の力」

榎本了吉 (アートディレクター・京都造形芸術大学教授)

中島信也 (CMディレクター・武蔵野美術大学校友会会長)

シンポジウム「言葉の力、わたちの力」

島津忠夫 (国文学者、大阪大学名誉教授)

小塩卓哉 (歌人、中部日本歌人会委員長)

金子徳彦 (フィールドミュージアム所長)

榎本了吉

中島信也 (進行)

総合司会 高橋章子 (エッセイスト)



「アート&デザイン2011岐阜」のテーマは、
3.11発生した東日本大震災の状況を受けて、いま一度、
大学80周年コンセプト・ワード「生きる、をつくる。つくる、を生きる。」に立ち返りました。
生きる意味を考える。その時、どこからかその答がよびごえとなって
こだまするのです。言葉は思考の道具でありながら心の奥底を掘りだして
人と人とを繋いでくれます。そんな思いを崩れぬよう、失われぬよう、
積み上げるように支えてくれるのがわたちの力、デザインの力であり、
アートのよびごえが、わたちのささえとなる言葉はつないでくれるのでしょうか。
「歌となる言葉とわたち展」は古今伝授の里フィールドミュージアムを主会場に
繰り広げられる「短歌と美術造形とのコラボレーション展」です。
言葉を駆使して生まれる心の種を、造形作家が連歌のごとく空間に視覚化する
ダイナミックな試みの展示です。
なお、本フォーラムは「歌となる言葉とわたち展」との連動企画となっております。

岐阜支部長 伊藤茂

同時開催

武蔵野美術大学校友会岐阜支部 第4回武蔵美OB展

11.19 | 土 | 10:00-16:00

郡上市総合文化センター 1階展示室

「歌となる言葉とわたち展2011」 10.15 | 土 | -11.20 | 日 |

古今伝授の里フィールドミュージアム(主会場)

「歌となる言葉とわたち展2011 学生公開制作」 7.30 | 土 | -8.12 | 金 |

古今伝授の里フィールドミュージアム庭園 <http://www.gujo-tv.ne.jp/~kokin/>

*フォーラム当日映像にて報告予定

「歌となる言葉とわたち展鑑賞会」 10.15 | 土 |, 11.18 | 金 | ほか

詳細は下記へお問い合わせください

Tel. 0575-88-3244 フィールドミュージアム事務局

関連展示催事

●関連ツアー企画中 (詳細 <http://www.msb-net.jp/news/forum.html>)



岐阜県郡上市は長良川上流に位置し、
奥美濃の山々から流れ出た
吉田川などが合流する名水の城下町です。
八幡町は郡上踊りのふるさと。
古い家並みとその軒先をほとぼるのように流れる
水路は情緒豊かな小京都を思わせます。
さらに上流の大和町には中世の伝統、
古今和歌集の奥義を伝えた東氏館跡と
篠脇城の美しい古今伝授の里フィールドミュージアムがあり、
短歌の魅力を現代に伝えています。

後援/郡上市、岐阜県教育委員会、郡上市教育委員会、郡上市文化協会、大和町文化協会、NHK岐阜放送局、朝日新聞社、岐阜新聞・岐阜放送、中日新聞社、毎日新聞岐阜支局、読売新聞社



榎本了吉 (えのもと りょういち)

クリエイティブ・ディレクター、プロデューサー。(株)アタマテ・インターナショナル代表。京都造形芸術大学教授・情報デザイン学科長。東京芸術学舎副学長。日本文化デザインフォーラム幹事。1969年武蔵野美術大学造形学部卒業。1969年渋谷天井楼歌館のデザインを葉津潔氏と製作。寺山修司監督作品「書を捨てよ町へ出よう」、天井棧敷ヨーロッパ公演美術監督。1975年月刊『ピククリハウス』(パルコ出版)を萩原朔美と創刊。以降、編集、出版、文化イベント等の仕事を展開。1980年『日本グラフィック展』『オブジェTOKYO展』『URBANART』等や、1989年『世界デザイン博』住友館、「横浜博」広報・アートディレクション。2001年「うつくしま未来博」「なぜだろのミュージアム」(グッドデザイン賞受賞)展示演出、「九州博覧祭」「TOTOミラクルマジック館」(北九州市長賞受賞)、2002年丸ビル・オープニングイベント等をプロデュース。主な著書『アートウイルス』『アーバナートメモリアル』『御教訓カレンダー』1976~現在(パルコ出版)劇句×掌書「春の画集」(新風舎)『東京モンスターランド』(晶文社)『川を渡る』『少女器』(かいふつ書店)等。



photo:杉能信介

中島信也 (なかじま しんや)

(株)東北新社専務取締役 CMディレクター
武蔵野美術大学 評議員/武蔵野美術大学校友会 会長/武蔵野美術大学客員教授・桑沢デザイン研究所非常勤講師・宣伝会議コピーライター養成講座講師。1959年福岡生まれ大阪育ち。1982年武蔵野美術大学造形学部 視覚伝達デザイン学科卒。1982年(株)東北新社入社。1983年「ナショナル換気扇」で演出デビュー。いち早くデジタル技術をCMに導入しエンタテインメント性の高いCMを数多く演出。現在専務取締役を務める傍ら多数のCMを演出。カンヌ国際CMフェスティバルカンヌグランプリ・金・銀・銅賞 「日清カップヌードルhungry?」、カンヌ金賞「宝酒造「La traviata」(1987)、東京アートディレクターズクラブ賞ほか多数受賞。映画監督:「矢島美容室ザ・ムービー〜夢をつかまねば!」(2010)



島津忠夫 (しまづ ただお)

1926年、大阪市生まれ。国文学者。大阪大学名誉教授。古今伝授の里フィールドミュージアム文学顧問。(財)冷泉家時雨亭文庫評議員。五島美術館理事(大東急記念文庫)・柿街文庫理事。元現代歌人集会理事長。1998年、『和歌文学史の研究』で角川源義賞受賞。2008年、『島津忠夫著作集』で第31回現代短歌大賞受賞。瑞宝中授章受賞「マグマ」、「日本歌人」に所属する歌人でもあり、歌集に『心鋭かりき』(角川書店)がある。



小塩卓哉 (おしお たくや)

1960年、岐阜県生まれ。現在愛知県一宮市在住。1984年、「音」短歌会に入会し、武川忠一に師事する。1992年、第10回現代短歌評論賞(短歌研究社主催)受賞。2004年、第13回梨郷賞(中部日本歌人会主催)受賞。日本文芸家協会・現代歌人協会・日本歌人クラブ会員。中部日本歌人会委員長。著書に歌集『風カノン』、『樹皮』。評論集に『新定型論』『海越えてなお』。エッセイ集『茶事礼讃』(H17)など



金子徳彦 (かねこ のりひこ)

1954年、岐阜県大和村(現郡上市)生まれ。郡上市教育委員会・古今伝授の里フィールドミュージアム所長。1979年、銀行員時代に北海道池田町の町づくりに感動してUターン。当時の大和村役場に入庁。「古今伝授の里づくり」を提案し町のシンボル事業として採用される。拠点施設であるフィールドミュージアムの建設の着手から完成、運営までを担当。新能、文楽、野外コンサート、美術展などミュージアムのさまざまな企画に当初から関わる。現在は所長を務めるとともに市全域の博物館及び資料館の統括を兼務。



総合司会

高橋章子 (たかはし あきこ)

1952年東京生まれ。75年武蔵野美術大学実技専修科油絵専修卒業。1977年ピククリハウスにて編集長として活躍。1985年高橋章子事務所設立。各種イベントの企画、制作。エッセイの執筆、講演、テレビ、ラジオ、雑誌など幅広く活躍中。主な著書『ひとり子が読む本』三笠書房、『大出産』徳間書店、『ピククリは忘れた頃にやってくる』筑摩書房、『クラスでケータイ持ってないの僕だけなんだけど』朝日新聞出版等。メールマガジン朝日新聞アスバラ通信「校長と母の放課後メール」2010.3.10~2011.3.30全55回バックナンバー <https://aspara.asahi.com/column/ArticleList.do?siteId=ff8080812729d88c01273cd031a7077f> 会員登録は無料

郡上市総合文化センター

岐阜県郡上市八幡町島谷207-1

Tel 0575-67-1555

岐阜駅より自動車にて
東海北陸道利用 約1時間
長良川鉄道
郡上八幡駅下車徒歩25分

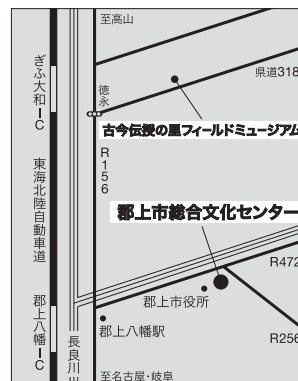
お問い合わせ

武蔵野美術大学校友会岐阜支部

岐阜市長良雄総883-22

Tel 080-5117-4385 (伊藤)

Fax 058-232-4385



岐阜
Gifu

かたち
の力

美術と
言葉

ふ
ず
な
え

ふ
ず
な
え

よ
び
ご
え

Ryoichi ENOMOTO Shinya NAKAJIMA

A
D
武蔵野美術大学 地域フォーラム
「アート&デザイン2011岐阜」

「言葉の力、かたちの力」

テーマトーク

「美術の力」

シンポジウム

榎本了杏(アートディレクター・京都造形芸術大学教授/69学産商卒)
中島信也(CMディレクター・武蔵野美術大学校友会会長/82学視卒)

島津忠夫(国文学者、大阪大学名誉教授)
小塩卓哉(歌人、中部日本歌人会委員長)
金子徳彦(フィールドミュージアム所長)

榎本了杏

中島信也(進行)

総合司会 高橋章子(エッセイスト/75別油卒)

WVU × m-b!

主催
武蔵野美術大学
武蔵野美術大学校友会
武蔵野美術大学校友会岐阜支部

Tadao SHIMAZU

Takuya OSHIO

Norihiko KANEKO